

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年1月30日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学部経営学科
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2026年1月5日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	コロンビア大学(日本語名) Columbia University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2025年9月～2025年12月
留学先大学で在籍した学年	4年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 9月上旬 ～12月上旬 2 学期: 3 学期: 4 学期:
学生数	約 36,000 人
創立年	1754 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (\$ドル) (1 現地通貨＝ 約 155 円)	B 日本円	備考
授業料	\$30,888	4,787,640 円	授業料のうち 4,000,000 円については、 明治大学の「海外トップユニバーシティ留 学奨励助成金 S」を頂きました。
宿舍費	\$8,077	1,251,935 円	
食費	\$2,400	372,000 円	
図書費		円	
学用品費	\$100	15,500 円	
携帯・インターネット費	\$107	16,585 円	
現地交通費	\$200	31,000 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	\$1,000	155,000 円	
旅費(留学中)	\$2,700	418,500 円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		46,760 円	形態: 明治大学海外旅行保険
渡航旅費	\$838	130,000 円	一部マイルを利用
ビザ申請費	\$600	93,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	\$46,910 (=7,271,050 円)	7,271,050 円	
総計(A+B) ※円		円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田空港 目的地：JFK 空港 経由地：

復路 出発地：JFK 空港 目的地：羽田空港 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：Asiana Airlines 料金：130,000 円

復路 航空会社：Korean Air 料金：0(マイル利用) ∴合計：130,000 円

航空券購入方法

旅行代理店(店名：)

インターネット(サイト名：Asiana Airlines、Korean Air)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前：) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

インターネット

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

留学先が決まったら、早め探し始めたほうが良いと思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: _____)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: _____)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大学の周辺で事件が発生すると、コロンビア大学から自動的にメールで通知が届きました。また、大学が運営する無料のシャトルバスやタクシーサービスがあったおかげで、授業の後に図書館で遅くまで勉強しても、無料で安全に自宅まで帰ることができました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

私はeSIMを利用しましたが、特に問題なく使えました。また、Wi-Fiも問題なく使えました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

Bank of America 講座を開設しました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

特にありませんが、アメリカで買うとやはり高いので、荷物の量が少なかったらよく使うものは買って行くのをおすすめします。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

明治大学の奨学金制度で支払ってくださり、差額は留学中に明治大学の口座に振り込みました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Global New York		グローバルニューヨーク
科目設置学部・研究科	School of Professional Studies	
履修期間	2025.09.02~2025.12.08	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	セミナー(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 110 分が 1 回	
担当教授	Sarah Miller-Davenport	
授業内容	New York の歴史、フィールドワーク	
試験・課題等	レポート	
感想を自由記入		

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
AI in Context	コンテキストにおける AI
科目設置学部・研究科	School of Professional Studies
履修期間	2025.09.02~2025.12.08
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Adam Cannon
授業内容	AIに関連する様々な内容を複数の教授が講義する
試験・課題等	毎回アンケート、レポート5回、グループプロジェクト、期末テスト
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
INTRO TO STATISTICAL REASONING	統計学入門
科目設置学部・研究科	School of Professional Studies
履修期間	2025.09.02~2025.12.08
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Ashley Datta
授業内容	統計学を基礎から幅広く触れる
試験・課題等	小テスト3回、中間テスト、期末テスト
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Basics of Cybersecurity	サイバーセキュリティの基礎
科目設置学部・研究科	School of Professional Studies
履修期間	2025.09.02~2025.10.08
単位数	1.5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	세미나(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に110分が1回
担当教授	Ian Gray
授業内容	Cybersecurityに関連する基礎を学び、毎週のニュースについて議論する
試験・課題等	グループプロジェクト
感想を自由記入	大学院の授業

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Cyber Risks and Vulnerabilities	サイバーリスクと脆弱性
科目設置学部・研究科	School of Professional Studies
履修期間	2025.10.08~2025.12.08
単位数	1.5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	세미나(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に110分が1回
担当教授	Elizabeth Cartier
授業内容	Basics of Cybersecurity 授業の続き
試験・課題等	期末テスト、最終レポート
感想を自由記入	大学院の授業

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

CFN、外資就活ドットコム、マイナビ、ワンキャリアなど

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

監査法人

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学を経験される皆さんは、CFN(キャリアフォーラム)などを通じてグローバル企業へ挑戦するチャンスがたくさんあると思います。留学と就活の両立は大変かもしれませんが、明大生ならきっとうまくいくはずですよ。心から応援しています!

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	内定
	8月～9月	英語語学試験
	10月～12月	明治大学留学・奨学金の選考・出願
留学開始年	1月～3月	コロンビア大学へ出願
	4月～7月	ビザ申請・取得、航空券購入
	8月～9月	コロンビア大学留学開始
	10月～12月	中間試験、期末試験
留学/帰国年	1月～3月	帰国・明治大学卒業
	4月～7月	入社
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私は大学入学当初から、経営学部のグローバル英語プログラム GREAT と高度会計人材育成トラック CAP に所属し、英語での専門学習や多国籍な環境の中で学んできました。その中で、将来は国や文化を越えて活躍できる人材になりたいという思いが強くなりました。そこで大学生活の最後となる 4 年次に、これまで培ってきた経営学や会計の知識を、より実践的かつグローバルな環境で試したいと考え、トップユニバーシティへの留学を決意しました。特にアメリカというビジネスの最前線で学ぶことは、自身の成長につながると感じました。また、その中でも留学先としてコロンビア大学を選んだ理由は、世界トップレベルの教育内容と学習環境に強い魅力を感じたからです。コロンビア大学はニューヨークという世界有数の経済・ビジネスの中心地に位置しており、教室内での学びだけでなく、街全体を通して実践的な知識を得られると考えました。日本で学んできた経営学や会計の知識を、実際の社会やビジネスの動きと結びつけながら深められる点に大きな意義を感じ、この大学への留学を決めました。

留学準備としては、大学内で実施されている英語関連のイベントやプログラムに積極的に参加しました。中でも経営学部主催の Tokyo Global Gateway では、一日中英語のみで過ごし、さまざまなビジネスシーンを想定した会話を体験できたことが非常に役立ちました。また、留学前から英語を使う環境でのボランティア活動に参加し、多文化の中で相手の考えを理解しながら行動する姿勢を身につけられたことは、現地での生活や授業への適応に大きく貢献したと感じています。

私は秋学期の正規学生として留学したため、現地の学生と同じ授業を受講しました。学生たちは学習意欲が高く、ディスカッションにも積極的に、留学生である私にもフレンドリーに接してくれました。ニューヨークの中心部にありながら広く美しいキャンパスは、生活の拠点としても非常に充実しており、天気の良い日にはテラスで勉強する時間が印象に残っています。滞在先については、留学生向けの寮がなかったため自ら住居を探しました。シェアハウスでは学部生や大学院生と共に生活し、程よい距離感の中で交流を深めることができました。ニューヨークでの生活経験が長い住人からの助言は、日常生活を送る上で大きな助けとなりました。

学業面では、各授業で課される課題の量が多く、毎回数百ページに及びリーディングやディスカッションへの準備に苦労しました。授業形態も講義、セミナー、グループプロジェクトなど多様で、それぞれに応じた準備が求められました。課題は自分の意見を文章でまとめるものが多く、フィールドワークを含む授業ではニューヨークの街を歩きながらテーマを設定し、全 3 回のレポートを作成しました。中間・期末試験や小テストもあり、日頃から継続的に復習することの重要性を実感しました。交友関係においては、当初は知り合いがいない状態からのスタートでしたが、大学主催の交流イベントやサークル活動に積極的に参加することで、多くの友人を作ることができました。休日には一緒に街を散策したり、美術館やカフェを訪れたり、ニューヨークならではの時間を過ごしました。

私は今回の留学を通じて、専門知識を現実の課題と結びつけて考える力が身についたと感じています。明治大学で 1 年次から学んできた学びを、アメリカというグローバルな環境でさらに深めることができました。多様な人との出会いを通して視野が広がり、自ら考え、選択し、行動する力も養われました。

これから留学を志す後輩の皆さんには、ぜひ勇気を持って自分のコンフォートゾーンから「前へ！」一歩踏み出してほしいと思います。全く新しい国での留学を考えると、不安や大変なこともあります。その経験一つ一つが必ず自分にとってプラスにつながると思います。現地でしか得られない学びや出会いは、将来の考え方や価値観を大きく変えてくれます。在学中という貴重な時間を活かし、ぜひ留学に挑戦してみてください。